



全国学力・学習状況調査の結果・分析について(3年)

4月18日(木)に実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。この調査は子どもたちの学力の状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。この調査結果をきっちりと分析し、保護者や地域のみなさまにも情報共有をさせていただき、今後の取組をさらに充実させていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

生徒質問紙

全国平均と比較しての強みと弱み。

< 課題だと思われる項目(弱み) >

(割合の低い項目)

- ・朝食を毎日食べている。
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたり3時間以上勉強をする。
- ・ICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。
- ・自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立て等を工夫して発表した。
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ。
- ・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った。

< 割合の高かった項目(強み) >

- ・人が困っているときは、進んで助けている。
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはある。
- ・ICT機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができる。
- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。
- ・国語の勉強は大切だ。
- ・数学の勉強は好きだ。
- ・数学の勉強は大切だ。
- ・数学の授業の内容はよく分かる。
- ・数学の授業で学習したことは、社会に出たときに役に立つと思う。

調査結果

	全国の平均正答率と比較して
数学	上回っている
国語	やや下回っている



数学

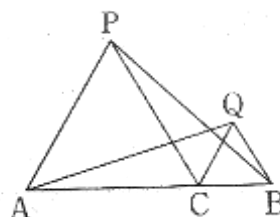
(強み)

- ・連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができる。
- ・等式を目的に応じて変形することができる。
- ・一次関数について、式とグラフの特徴を関連づけて理解している。
- ・与えられたデータから最頻値を求めることができる。
- ・グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができる。

(弱み)

・(問い) 車型ロボットについて、「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を5つの箱ひげ図を比較して説明しなさい。→複数のデータを比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題である。

・(問い) 点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBを作るとき、 $AQ=PB$ であることを、三角形の合同を基にして証明しなさい。



(今後は)

- ・「関数領域」については、2学期に学習する「二次関数」において、一次関数の復習をします。
- ・数学的用語を用いて、問題を解決する方法を説明したり、ある事柄が成り立つ理由を説明したりする問題を、授業や定期テストなどで、意識的に取り入れていきます。

(強み)

- ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。
- ・文の成分の順序や照応について理解している。
- ・資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができる。

国語

(弱み)

- ・「意見と根拠など情報と情報との関係について理解している」割合が低い。
- ・「文章と図とを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈する」割合が低い。
- ・「表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる」割合が低い。
- ・「短歌の内容について描写を基に捉えることができる」割合が低い。

(今後は)

- ・本文の内容を要約する問題を授業の課題やテスト問題に取り入れます。その際、重要語句は何なのかに着目させるようにします。
- ・条件付きの作文に、今後も引き続き取り組みます。また、問題文を理解した上で取り組む習慣を身につけさせるようにします。